



近畿大学「白菊会」

献体運動にご理解を

医学の基礎である解剖学教育における正常解剖のために、自分の死後、遺体を無条件、無報酬で提供することが献体であり、その人々の篤志を推進して積極的に良医づくりに参加することが献体運動であります。

近畿大学医学部では「近畿大学白菊会」と称する献体について篤志をもつかたがたの会があります。この会は会員の健康の保持と増進および相互の懇親をはかり、かつこの献体運動を推進していくことを目的としています。

真の良医を育成するというこの運動の主旨を一部の篤志家の皆様ばかりでなく、より広く社会の皆様がたに正しく理解していただきたいと思えます。

献体されたご遺体によって医学を修め、育成された医師達は、かならずや社会全体に貢献いたします。

私達の子供たちや孫たちのよりよき時代のために献体運動の輪を広げていきたいものと念じています。



献体運動をすすめる白菊会

「近畿大学白菊会」の 献体登録制度を より広くご理解いただくために



近畿大学医学部

ごあいさつ

近畿大学は総合大学の基礎の上に立って医学の教育・研究および診療の向上を目指して、医学部を設置しており、国民の福祉を高め、広く人類に貢献するよう努力いたしているものであります。

本学の教育・研究は我々の努力はもとより、広く社会の各方面のかたがたのご支援やご協力なくして十分にこれを全うすることは困難と存じます。

殊にすべての医学・医療の基礎となる人体の構造と仕組の理解には、実際に人体について学び、研究しなければなりません。そのためには、自分の死後、ご遺体を正常解剖の為に役立てようと発意された篤志家の方々のご協力なくして医学教育の基礎を究めることは出来ません。

本学医学部内には、篤志のかたがたが天寿を全うされた後、ご遺体をご寄贈下さるよう予め登録していただく篤志献体登録制度を設け、ご協力をお願いいたしております。

ひろく社会の皆さまの医学への深いご理解とご協力のしるしとして献体登録をしていただきますようお願い申し上げます。

大変厄介なお願いではありますが、何卒よろしくご配慮、ご協力をお願いいたします。

医学部長
解剖学教授

存じます。
慈悲の極みであろうかと
献体という行為は



生命の起源がまだ科学的に証明されておらず、はっきり判らないのと同じように、死後の世界につきましても、こうだと説明することはできません。そこに、生命というものの偉大さと尊厳さが潜んでいるように思われるのであります。

仏教の世界では因縁ということを大切にいたします。(原)因があれば、(結)果がありますけれども、そこに縁というものがなければ、生命は生まれてはこないなのであります。

今、四天王寺に一輪の大きな原始蓮が咲いておりますが、この種子は鹿島の丸木舟にあった弥生式土器の中で発見されたものといわれております。この種子には生命を宿し花を咲かせるだけの因をもってはおりますが、この種子を土中に植え、水や太陽の光という縁を与えてやらなければ、果即ち花を咲かせることはなかったであらうでしょう。

かように、私たちの生命世界は因・縁・果というものによって支配されておるのであります。一方、生命を全うした後に私たちはどうなっていくのか、今現在生きている私たちにとってたいへん大きな問題ではありますが、残念ながらよく判らないのであります。私たちがいくらお経を読み、研究を重ねましても判らない。このことを判っておられますのはお釈迦さま只一人であります。したがって、結論的

に云ってしまいますと、私たちの死して後のことは、このお釈迦さまに全てをゆだね、そのお導きに従うしか、道がないということでもあります。そしてそうすることが最も正しいことであらうかと思えます。このお釈迦さまのありがたいお導きをいただくために、私たちは、生命ある間は、生きとし生けるものをいつくしみ、全てに感謝しながら謙虚な気持ちで生きていくことが大切かと思われまします。善行を施しておけばきつといい結果にめぐりあえるにちがいないのです。

また、無縁の衆生を有縁にお導きするのも大切なことでもあります。誰れもが、何かのご縁で顔見知りになれば、朝夕のあいさつを交わし、話し合いが生まれ気心がお互いに知れます。そこにはいさかみやいがみあいが無くなり、心安らかな平穏な日々が生まれるであらうでしょう。魂の世界でも全く同じことでもあります。

四天王寺では、近畿大学医学部へご献体されました方々の御魂を有縁仏として菩提をお弔いし、年一回盛大な法要を催してそのご高志に対し、安らかなお眠りを念じ御魂をおなぐさめしております。

死してなお、生あるものに益をもたらす献体という行為は、これ以上の崇高なものはなく、慈悲の極みであろうかと存じます。合掌

四天王寺元管長 出口常順師

献体に感謝して

近畿大学医学部解剖体慰霊祭

解剖体之霊

慰霊祭

近畿大学医学部では、毎年一回その年度内に人体の正常な仕組みを究めるための解剖学の教育にご献体されたかたがたと、近畿大学附属病院で亡くなられ、病気の本態の究明のための病理解剖にご理解ある貢献をしていただいたかたがたなどの慰霊を行うため、医学部および附属病院教職員、医学部学生、看護学校学生をあげて、ご遺族、白菊会会員をご招待申し上げ、特定の宗教・宗派にとらわれず、超宗教で近畿大学医学部解剖体慰霊祭を厳粛に行っております。



慰霊法要と 納骨堂

近畿大学では、年に一度大学をあげての盛大な慰霊法要を、四天王寺(大阪)において厳粛に行いご献体者を近畿大学への功労者として、そのご貢献への感謝の祈りをいつまでも続けております。またご遺骨はご希望により、当寺院の地下納骨堂にお納め申し上げ、その霊を丁重に永代供養いたしております。

四天王寺は、ご承知の通り、聖徳太子建立の寺院で、わが国仏教の原点ともいわれ、また病人や貧しい人たちの救済を行った慈悲深い史寺であり、どの宗派にも関係なく安住が得られるものであります。



白菊会への登録手続

①登録には肉親者全員の同意が必要です。

肉親者とは、配偶者、親、子、兄弟姉妹で生存している人全部です。これ等のご家族や身寄りのない方は会へご相談下さい。献体が実行できるのは肉親者（ご遺族）でありますから、充分にお話し合いの上、皆さんの同意を得て下さい。

②登録申込(入会)方法

肉親者の同意を得られてはじめて、申込み（入会）が出来ます。申込用紙は近畿大学医学部内近畿大学白菊会迄、ご請求下されればお送りいたします。申込書と同意書に必要事項を記入捺印して、ご返送下さい。

③会員証

入会申込書・同意書をお送りいただきますと、近畿大学白菊会会員となり、会員証（大・小2部）をお送りいたします。

※ 近畿大学白菊会における個人情報の内容と利用目的について

近畿大学白菊会会員ならびに同意者の個人情報の主な内容と利用目的は、以下のとおりです。また、これらの個人情報の管理や利用は、「学校法人近畿大学個人情報保護規程」に基づき適切に取り扱います。

記

1、近畿大学白菊会が保有する主な個人情報

- ①会員本人 氏名、性別、生年月日、本籍地、現住所、電話番号、家族構成、最終学校名、病歴
- ②同意者 氏名、生年月日、会員との続柄、現住所

2、主な利用目的

- ①慰霊祭・慰霊法要の案内
- ②解剖体記録

献体の実行

会員が天寿を全うなされた場合には、近畿大学医学部内の白菊会(T E L 072-366-0221の内線2153、時間外の場合は交換手に白菊会担当とおつげ下さい。)へ電話でご連絡下さい。休日はもちろんのこと、勤務時間外でも結構です。その時、ご遺体のお引渡しについて打合せをした上で、大学からお迎えにまいります。

献体後、ご遺骨をご返還いたしますまでの期間

会員が亡くなられ献体されたのち、ご遺骨をご返還するまで1年から3年を要します。

準備期間……解剖が可能になるまでの期間。

献体されたご遺体は、直ちに教育に供することはできません。まず「固定」という準備期間が必要で、そのため約5ヵ月を要します。

その後、教育・研究のために解剖させて頂くわけですが、献体されたご遺体については、その都度、別々に解剖されるのではなく、一定時期（4月～6月）に行われる関係上、長期間を要することをご理解頂きたく存じます。

解剖が終了しましたら、大阪狭山市の火葬場におきまして丁寧に火葬し、ご遺骨はご遺族にお届けいたします。

なお、ご遺骨のご返還につきましては、大学からご返還日時の打合せの連絡があります。

見本 (表)

本証は目につくところへ掲げておいて下さい。

会 員 証

入会時住所 _____ 年 月 日生 _____ 年 月 日

貴殿は _____ 年 月 日 本会々員として登録されました。

近 畿 大 学 白 菊 会

大阪狭山市大野東377-2
近畿大学医学部内
TEL (072) 366-0221
内線 2153・2351

(裏面をご覧下さい)

(裏)

「会員が亡くなられた時に、していただくこと」
ご家族の方々へお願いです。

一、会員死亡の電話連絡
この会員証(表面の下階)に記入してある連絡先(白菊会)へできるだけ早く電話でお知らせ下さい。

二、ご遺体を大学へ引渡す時刻の打合わせ
まずご家族の間で次のことをお決めになって下さい。
(1) お通夜をせずに直ちに引渡す
(2) お通夜をしてから引渡す
(3) お通夜をして告別式をすませてから引渡す
右のうちどれかにきまりましたら白菊会事務所の人と、ご遺体引渡し
の場所と時刻を打合わせ下さい。
ご遺体の輸送は大学がお引受けし、原則として寝台自動車がお迎えに上
ります。
(註)ご遺体より早くお役に立つのは、死後なるべく早く大学へお引渡し
下さるのが望ましいです。しかし早朝・夜間の引渡しや会員のお亡
くなりになった場所が大学から遠い場合の引渡しについては大学の事情も
おみとりの上、お打合わせ下さい。

